



平和資料館

草の家だより

No.163

2024年6月15日発行



草と草の根の連帯をあらわす
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586
E-mail grh911@dream.jp HP <http://www.maroon.dti.ne.jp/kusanoie/>
※2月よりアドレスが変わりました

「第4回榎村浩碑前祭」を開催

6月1日、平和資料館草の家は、高知市の城西公園で「第4回榎村浩碑前祭」を開催、21名が参加しました。

このイベントは、戦前の高知で反戦を訴えた詩人・榎村浩（まきむら・こう）を顕彰すべく、その誕生日である同日に毎年実施しています。

日本帝国主義が国内外に暴虐をふるった戦前、高知には「この戦争は間違っている」と訴え続けた



青年たちがいました。榎村もその一人であり、彼は、反戦の詩を書くことで、日本帝国主義に抵抗します。しかし、暴走した権力は、その命を26歳で奪いました。

碑前祭は、11時からスタートしました。最初に岡村正弘館長から挨拶（写真左）があり、その後、来賓として岡山から牧師・宇賀充（うか・みつる）さんにお話しいただきました。その内容は、以下の通りです。

【宇賀充さんのお話】

岡山から来ました宇賀充です。元看守で、土佐嶺北教会と三島真光（しんこう）教会（愛媛県四国中央市）の牧師でした。今は隠退牧師の名を貰い、保護司も務めています。

私は碑の北にある小津高校前の家で生まれ、榎村浩の収監されていた高知刑務所は身近な存在でした。刑務所跡地の城西公園にある「日中不再戦の碑」建立の時は序幕式に参列し、カンパもしましたが、榎村浩の歌碑がその側にあることは知りませんでした。「週刊金曜日岡山読者会」の世話人もしていますが、社長の植村隆さんの榎村浩碑前祭並びに墓前祭への誘いに乗り、倉敷読者会と岡山読者会、土佐高の同窓生にも声をかけたら何人か参加してくれました。参加にあたり、土佐文雄さん(高知文学学校で一度お会いした)の「人間の骨」を読み、榎村浩の生涯に想いを馳せました。

古典に「わが子よ、わたしの言うことを守り戒めを心に納めよ。戒めを守って命を得よ。わたしの教を瞳のように守れ。それをあなたの指に結び、心の中の板に書き記せ」という言葉があります。碑は想起するためにあります。建てておしまいではありません。碑は時勢に揺られ、埋められたり、削られたり、粉碎されたり掘り起こされたりしますが、心に刻み付けたいものです。

宇賀さんのお話の後、西森良子さん、藤原尋子（ひろこ）さん、胡麻崎ゆう子さんによる榎村の詩

「生ける銃架」の朗読が行われました。この作品は、「日本プロレタリア作家同盟高知支部」に入っていた槇村が、「満州事変」勃発の翌月に当たる 1931 年 10 月に書き上げたものです。日本帝国主義が大陸への侵攻を深める中、戦争に駆り出される日本兵たちを「生ける銃架」という言葉で表現したこの詩は、国の間違った外交政策を告発するものでした。

報告：森本琢磨（常任理事）

「2024 年度総会」を開催

6 月 1 日「第 4 回槇村浩碑前祭」の終了した午後 2 時から、平和資料館・草の家で「2024 年度総会」を開催、26 名が参加しました。

冒頭、「第 4 回槇村浩碑前祭」に続き宇賀充氏に参加していただき「槇村浩と刑務所」というテーマでお話をしていただきました。

総会では、2023 年度活動報告と会計決算報告、会計監査報告。

そして 2024 年度活動方針と予算。そして 2024 年度役員について提案を行い、若干の質疑・意見交換が行われました。

すべての議案について、満場の拍手で確認されました。

総会終了後には 17 名の参加で、美味しい手料理も準備され、なごやかに懇親会を行いました。



「2023 年度活動報告」は次の通りです

1. 軍事力ではなく外交による安全保障をめざす
 - ・「日本政府はイスラエルにガザ攻撃中止と即時停戦を求めよ」岸田首相に要請文送付 11/9(木)
 - ・「安本法案を廃止させる 19 日行動」18 時～中央公園北口 1/19(金) 2/19(月)25 名 3/19(火) 70 人 4/19(金)
 - ・「陸自幹部の靖国・宮古神社の集団参拝に抗議する」宗教者・市民共同声明に賛同の FAX 送付 2/10(土)
 - ・『特定利用港湾』指定受け入れ『強行』に抗議する緊急集会」12:15～県庁前 3/27(水)250 人
2. 沖縄の米軍基地反対運動と連帯し、平和で豊かな沖縄・日本をめざす
 - ・「第 45 回戦争と平和を考える資料展」で、沖縄をはじめ南西諸島のミサイル基地化を取り上げる。
 - ・「戦雲」高知県上映連絡会結成 3/28(木)
3. 憲法改悪を許さず、立憲主義、民主主義を取り戻す活動を推進する
 - ・金丸英氏を迎え講演と交流 4/8(月)15:00～
 - 演題：「強制動員被害者の『人権』と『尊厳』、そして東アジアの平和」交流：17:00～ 20 名参加
 - ・「憲法アクション呼びかけ人会議」自治労会館（岡村和彦参加）4/18(木)
4. 「核兵器のない世界」の実現
 - ・「原水禁・原水協 核兵器禁止条約発効 3 周年 県民の集い」高知市公民館 1/20(土)80 名
 - ・ビキニの海のねがい原画展・ビニキ被災写真展（5/3～11 迄 自由民権記念館）、参加者約 200 名
 - ・ビキニデー in 高知 2024（5/11～12 こうち男女共同参画センター「ソーレ」）、参加者延 300 名
5. 環境問題に取り組む
6. 原発をなくし「福島」を繰り返さない
 - ・「汚染水流すな！緊急宣伝・集会」県庁前交差点 8/24(木)12:05～「原発なくす会」呼びかけ約 60 人
 - ・「まもろう平和なくそう原発 in こうち」中央公園 11/23(木/祝)10:00～
 - ・「3・11 を忘れない こうちアクション 2024」3/10(日)14:00～ 集会：はりまや橋交差点 70 人
 - ・「3.11 メモリアルキャンドルナイト」18:30 市役所前 40 人 主催：原発をなくし、自然エネルギーを推進する高知県民連絡会 グリーン市民ネットワーク高知

7. 日本近現代史を学び、東アジアの人々と共有できる歴史像を構築

- ・「8・15 戦争を語りつぐつどい 2023」8/15(火)パネラー 織田千代子さん
人権啓発センター 6F 10:00～12:00 参加人数 128 名
- ・「日中不再戦碑建立 31 周年記念の集い」9/17(日) 11～12 時 城西公園 40 名参加
- ・映画「雪道」民権 H 2/10(土) 10 時～ 13 時～ 15 時 30 分～ 18 時～ 延 500 名
- ・『「建国記念の日」に反対し日本の今と未来を考える集い」2/11(土) かるぽーと 120 人

8. 戦争遺跡や関連資料の調査・保存・整備、活用を推進

① 見学会・案内

- ・民主青年同盟、旧歩兵第 44 連隊関連の戦争遺跡巡り 7/2(日) 14 時～16 時 30 分 10 名
- ・掩体見学案内 土佐清水市郷土史クラブ 7/17(月) 12 名
- ・戦争遺跡めぐりバスツアー 8/5(土) 23 名
- ・慶應義塾大学 安藤広道教授 来館 田村遺跡、掩体、草の家 10/24(火)出原案内

② 戦争遺跡調査

- ・鶴来島調査 (第 16 回 12/2、第 17 回 5/26)
- ・陸軍墓地納骨堂の調査
墓地草刈り 10/18 (水)午前 現地打ち合わせ 1/6(土)、「草の家」で学習会 1/19(金)、
第 1 回～6 回調査 (2/2、2/16、3/1、3/15、4/12、5/17)

③ 戦争遺跡保存

- ・「亀山島地下工場保存の会」(岡山県) から 4 名来館 8/15(火)戦争遺跡保存のあり方について懇談
- ・門崎砲台跡 (南あわじ市) 現地説明会、「保存運動の会」と懇談 8/19(金)
- ・第 26 回戦争遺跡保存全国シンポジウム横須賀市おっぱま大会 (9/16 土～9/18(月) 出原参加
- ・「門崎砲台跡保存」の件で南あわじ市議会総務文教常任委員会に参考人として出原出席 9/22(金)
- ・「第 27 回戦争遺跡保存全国シンポジウム北九州市やはた大会」現地実行委員会 3/17(日)

④ 遺品の受領など

- ・8/28(月) 吉岡和子さんが遺品 (写真、ハガキ・・・) 持参、受領
- ・2/26(月) 高知市朝倉の鎌倉さん、大量の戦前写真を持って来館 (祖父の軍隊時代写真など)
- ・4/15(月) 大豊町桑原栄さんから祖父 (桑原一誠) のシベリア出兵関連資料受領
- ・〃 高知市内在住 橋本瑠子さんからシベリヤ抑留関係の資料写真を預かる

9. 地域の歴史と文化を生かしたまちづくり

- ・「生活と平和を守る高知市民の会」事務局会例会 高知城ホール 3F (13:00～15:00)
8/7(月) 10/2(月) 1/11(木) 2/5(月) 3/4(月) 4/1(月)
- ・高知市長、同教育長と懇談 8/21(月) 10:00～12:00 高知市の平和行政について
- ・「市民の会」高知市と交渉 午後 1/15 高知市内の戦争遺跡の保存について

10. 日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究に努め、その教訓を普及する

(1) 高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し、取り組みを推進しました。

- ① 講演会：友の会総会記念講演会(4/29)、第 22 回「県詞の日」記念講演会(10/14)に参加。
- ② 民権史跡探訪「電車で行く旭・枳形界限史跡めぐり」(2/17)に参加。
- ③ 第 25 回「民権風まつり」(小学生対象：風づくり 12/17、風あげ 24 年 1/4) 運営に参加。
- ④ 顕彰の取り組み (兆民忌 12/13、無天忌 24 年 1/23・周辺の民権期歴史的人物の墓を訪ねる)、
秋水忌 24 年 1/23)
- ⑤ 読書会 (月 1 回土) 炎俳句会、(月 1 回化) 継続開催

(2) 2024 年 1 月 17 日が、民撰議院建白書提出から数えて「民権 150 年」にあたることから「民権 150 年」高知県実行委員会が結成され草の家として参加し、取り組みを進める。

- ① 1/21「いまの政治に土佐から吠える」開催 (民権ホール)。
- ② 3/20「丸山台清掃」に参加。
- ③ 5/26「丸山台と周辺に史跡めぐり」を開催。

11. 反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

- ① 植村浩 墓掃除 9/3(日) 館長、松村、西森、森田、出原、細木、西村、柳原
- ② 「秋水忌」1/24(水) 中村の墓地前 12:00～
- ③ 植村 隆 (週刊金曜日代表取締役)・往住 嘉文 (北星大学非常勤講師) 来館 (2/5 月)
「従軍慰安婦中曽根資料」発掘について取材 15:30～ (館長、出原、馴田、西森)
- ④ 宗武五郎 (香南市) を発掘 (馴田)

12. 若手プロジェクト

1 3. 平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮

- ① 『草の家だより』
第 159 号 (6/27) 第 160 号 (9/29) 第 161 号 (12/19) 第 162 号 (3/25)
- ② 第 45 回戦争と平和を考える資料展
『『新たな戦前』にさせない！-だまされた歴史を繰り返さないための資料展』6/30～7/9 入場者 350 名
6/30(金)「資料展」記者発表、取材 (高知放送、毎日新聞、高知民報、読売新聞)
7/8(土) 金英丸氏講演 『『笹の墓標』から学ぶ日本の歴史-私たちは、強制連行の歴史にどう向き合うか-』
自由民権記念館ホール 14 時～ 120 名 18 時～ 草の家にて交流会 約 30 名参加
- ③ 第 41 回「平和七夕」
7/1(土) 吊り上げ作業 17:00～、『2023 ピースウェイブ in こうち』スタートの集い 17:45～
実行委員長岡崎清恵さん挨拶、高知センター合唱団 (17 名) 約 30 名
- ④ 第 19 回「高知市平和祈念式追悼集会」 7/4(火) 参加者 70 名
- ⑤ 交流・取材など
7/2(日)「ぼくの見た高知大空襲」(館長)『毎日新聞』掲載
7/25(火)モンゴルの子どもたちとの交流 (中学生 4 名) 参加者 23 名 16:00～ 草の家
1/15(月)元イスラエル軍兵士ダニー・ネフセタイ夫妻来館 (田邊さん案内) 懇談
著書『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』を寄贈
1/28(日)「草の家」新年会・餅つき 文化行事 米五升 50 名参加
2/14(水)やなせたかし (朝ドラ「あんぱん」) の取材
NHK 総局から 3 名、観光コンベンション 3 名来館 9:00～10:00 出原、西森
- ⑥ 8/13(日)「草の家」初代館長西森茂夫さん 20 回忌 10:00～12:00
- ⑦ 12/27(水)大掃除 10:00～2/9(金)
- ⑧ 2024 年度企画準備
2/22 の「2024 ピースウェイブ in こうち」実行委員会 案内送付
3/4(月)「第 46 回戦争と平和を考える資料展」第 1 回実行委員会 13:30～草の家 8 人
- ⑨ 『草の家だより』を県立図書館に寄贈

<貸出>

- 6/27(火) 小高坂小学校に「防空頭巾」「水筒」など
7/19～8/15 仁淀川平和委員会に写真パネル
7/25～8/18 ものべ川平和委員会に「防空頭巾」「水筒」など 15 点
8/7～9/20 平和のつどい牛久実行委員会委員会 (茨城県) に紙芝居
10/12(木)「安芸市平和展」の資料貸出 (南西諸島軍事基地化、ウクライナ)

<講演>

- 7/29(土) 講演 館長 連合高知 共済会館
7/30(日) 高知県母親大会 09:30～岡村啓佐
8/6(日)「香長平野の戦争遺産」展 8/4(金)～16(水)香美市図書館主催
ものべがわ平和委員会・香美市原水禁記念公演『『本土決戦』準備と戦争遺跡が語るもの』(出原)
8/8(火) 老人憩所特別行事第 45 回「戦争と平和を語る会」10～11:00 高知市南部健康福祉センター 館長
8/8(火) 退婦教須崎支部 18:00～岡村啓佐
8/23(水) 退婦教安芸支部 10:00～岡村啓佐
8/25(金) 佐川退婦教・新婦人 13:00～岡村啓佐
2/11(土) 日本母親大会四国ブロック集会「ウクライナ戦争と日本の軍拡」岡村啓佐 高知城ホール 60 名
2/15(木) 高知ペンクラブ「高知県における朝鮮人労働者について」 馴田正満 講演 30 名
2/29 3/1 ビキニ集会 焼津市 岡村啓佐参加報告

<語り部>

- 7/4(火)初月小学校 5・6 年生と教員 260 人
7/5(水)朝倉小学校 全校生徒 560 人
7/6(木)江ノ口小学校 1～3 年生と教員 99 名
8/7(月) 北川小学校 09:00～10:00 1～6 年 30 名 館長・松村
10/2(月) 伊野南小学校 4 年生 来館 9:30～11:00 30 名 館長

<ミニ学習>

- 8/25 「消費税」について（松村常任理事）
- 9/29 「沖縄」について（松村常任理事）
- 10/27 「草の家」紹介 DVD の視聴
- 1/26 「パレスチナ問題」（上光常任理事）

「2024 年度活動方針」は次の通りです

1. **日本に戦争を呼び込むアメリカのアジア戦略追従の軍備拡大路線ではなく、対話による包摂的な安全保障をめざす**
 - ① 国連憲章と国際法に基づきウクライナ戦争の停戦、ロシア軍の撤退、「ガザ戦争」の停戦、イスラエル軍の占領地からの撤退を求めます。
 - ② 宿毛湾港、須崎港、高知港の「特定利用港湾」指定の撤回を求めます。
 - ③ 戦後国是としてきた平和主義・専守防衛を否定した「安保 3 文書」に基づく未曾有の軍備拡張、敵基地攻撃能力の保有、土地規制法などの戦争準備法制の撤回を求めます。
 - ④ 「死の商人」国家への道を進む「防衛装備移転三原則」改定による殺傷兵器の輸出、戦闘機やミサイルの共同開発など閣議決定の撤回を求めます。
 - ⑤ あらゆる紛争を話し合いで解決することを義務付けた ASEAN に学び、「対立と分断」ではなく「平和と協力」の東アジア社会を目指します。
2. **沖縄で進められている戦争準備に反対し、平和で豊かな沖縄・日本をめざす**
 - ① 沖縄県民の民意を幾重にも蹂躪した辺野古新基地建設に対する国の代執行（12/28）に断固抗議するとともに、工事の中止を求めます。
 - ② 沖縄を再び本土の「捨て石」とする米軍・自衛隊によるミサイル基地の強化・拡大に反対します。
 - ③ 「戦雲」（いくさふむ）上映を成功させます。この取り組みを通して沖縄のたたかいと連帯し、郷土の軍事化を許さない運動に参加、戦争準備の実態について学び、その危険性を告発します。
3. **憲法の蹂躪・空洞化を許さず、立憲主義、民主主義を取り戻す活動を推進する**
 - ① 憲法改悪に反対し、立憲主義、民主主義を取り戻す運動に積極的に参加します。
 - ② 地方分権への逆行、地方自治の本旨をないがしろにする「地方自治法改定案」に反対します。
 - ③ 機密保護法の経済版である経済秘密保護法の廃止を求めます。
 - ④ 学術研究、科学技術開発の国家からの独立を求めます。
4. **被爆 80 年に向けて、「核兵器のない世界」の実現をめざす**
 - ① ビキニ被災 70 年を新たな出発点として、核実験被災の実相を学び、核兵器禁止・廃絶の共同を発展させます。
 - ② 世界 70 カ国が核兵器禁止条約を批准しています（2024 年 1 月現在）。核禁条約を批准する政府を実現するために、日本原水協が呼びかける「非核日本キャンペーン」に賛同し積極的に取り組みます。
 - ③ ビキニ被ばく船員訴訟裁判（労災訴訟裁判・損失補償裁判）の支援と、ビキニデー in 高知実行委員会に参加し取り組みます。
5. **食料自給率の向上と地球環境の保護に取り組みます**
 - ① 日本の食糧自給率は 182 カ国中 128 位、カロリーベースで 38%（飼料などを考慮すると 18%）という異常な低さです。第一次産業を育成・発展させ自給率の向上を国政の中心課題とすることを求めます。
 - ② 地球規模で進行しつつある気候変動や環境破壊について学習します。
 - ③ 化石燃料による発電所の輸出に反対します。
6. **原発をなくし「福島」を繰り返さない**
 - ① 能登半島地震で原発の危険性が改めて浮き彫りになりました。原発推進等 5 法案（G X 電源法、原子力基本法など）の撤廃を求めます。
 - ② 福島原発事故による汚染水の危険性を学習するとともに海洋放出の中止を求めます。
 - ③ 伊方原発の再稼働反対を求め「原発をなくす県民連絡会」に参加し取り組みます。
 - ④ 太陽光発電、小水力発電など自然エネルギーの蓄電利用の推進と実践を広めます。
7. **日本近現代史を学び、東アジアの人々と共有できる歴史像を構築する**
 - ① 日本近現代史を系統的に学び歴史事実の隠蔽や歪曲を許さず、侵略戦争と植民地支配の実態を検証し、加害・被害・抵抗・創造の視点から歴史を学びます。
 - ② 「徴用工」問題、「慰安婦」問題について、歴史問題の認識を深め、国際人権規約の視点から

学び理解を深めます。

- ③ 韓国植民地歴史博物館、侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館との友好交流協定にそって取り組みを進めます。

8. 戦争遺跡や関連資料の調査・保存、整備、活用を推進する

- ① 戦争遺跡の調査・研究を通して、戦争の実相を学び戦争遺跡保存の今日的意義を追求します。
② 資料の収集、整理、保管に努め、収蔵資料台帳の作成とデータ化を目指します。
③ 県内戦争遺跡の紹介や見学会の実施、「草の家」所蔵資料について情報発信します。
④ 鶴来島、朝倉陸軍墓地納骨堂など戦争遺跡の調査を進め文化財指定など、行政にも働きかけます。

9. いのちとくらしを守り、地域の歴史と文化を生かしたまちづくりを推進する

- ① 暮らし破壊の軍事費の増大に反対し、社会保障や教育の充実を求めます。
② 「平和と生活を守る高知市民の会」に参加します。
③ 新図書館西敷地を「広場」として利用するなど豊かな「街づくり」を追求し運動に参加します。

10. 日本で最初の民主主義運動である自由民権運動の研究に努め、その教訓を普及する

- (1) 高知市立自由民権記念館友の会の運営に参加し取り組みを推進する。
① 講演会（友の会総会記念講演会、第23回「県詞の日」記念講演会 9/21）
② 民権史跡探訪「五日市憲法を訪ねて～町田・甲府・東京～」(日程未定)
③ 民権風まつり（小学生対象）(風づくり 12/22) (風あげ 25年 1/4)
④ 顕彰の取り組み（兆民忌 12/13、無天忌 25年 1/23、秋水忌 25年 1/24）
⑤ 読書会(月1回金)炎俳句会（月1回火）継続
(2) 「民権150年」高知県実行委員会に運営に参加し、取り組みを推進します。

11. 反戦・平和の活動家の顕彰や新たな資料の発掘を行う

- ① 「榎村浩生誕の地」碑を有効活用します。
② 「反戦・平和の碑」巡りを企画し、県内外の方に高知の誇るべき抵抗の歴史を紹介します。
③ 榎村浩「碑前祭」(6/1)・「墓前祭」(9/3)を開催します。

12. 平和資料館・草の家として、内容を充実、発展、役割を発揮する

- ① 「2024 ピースウェイブ in こうち」、「第46回戦争と平和を考える資料展」、「第42回平和七夕」の成功を目指します。
② 資料の貸し出し平和学習など、講師派遣の要請に積極的に応えていきます。
③ 新たに50名の会員増を目指します(2024年5月**日現在、**名の新会員)
④ 会費未納者をなくし、草の家の財政確立に取り組みます。
⑤ 『草の家だより』を一層充実させます。
⑥ 県内の様々な団体と連携・協同・参加を役割分担しながら取り組みます。
⑦ 上記活動の充実を図るために、常任理事会とともに総会を含めて年4回の理事会を開催し、草の家の担い手づくりに努めます。
⑧ 毎月開催する常任理事会、理事会において、ミニ学習会を行います。
⑨ 草の家創立35周年記念企画を検討します。
⑩ 「ソーレネットワーク」、「憲法アクション」などの民主団体に代表を送ります。

2024年度 草の家役員

特別顧問： 野田正彰

(五十音順) ※重複あり

顧問： 岡崎清恵

下線…常任理事

館長： 岡村正弘

波線…新役員

副館長： 岡林登志郎・岡村啓佐・出原恵三(事務局長兼務)

事務局員： 西森遼子・岡村和彦

常任理事： 織田千代子・北代いづみ・馴田正満・藤原尋子・西村多津子・松村信博

森本琢磨・山本万里子・亓成承三

理事： 池澤俊幸・上光陽子・江崎瑞枝・大原純一・岡崎かをり・岡村多美・胡摩崎長廣

島村友子・玉置啓子・中内理津子・中島暁・畠中宏一・福井康人・宮川真幸

横山藍

監査： 山本幸子・上田百合子

学芸員： 上光陽子・森本琢磨・横山藍

研 究 員： 大原純一・岡林登志郎・岡村啓佐・出原恵三・馴田正満・福井康人
森本琢磨・横山藍

新しい役員のご紹介



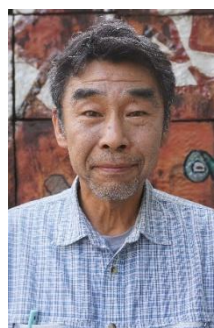
池澤俊幸

お世話になって
おります。個人
的に、奈良・平
安時代を勉強し
ています。



藤原尋子

これまで母親運動や退
婦教の活動の中で、い
つも心強い運動の友で
あった「草の家」。常
任理事の仕事がどこま
でつとまりますか不安
ですが頑張ります。



吉成承三

これまで母親運
動や退婦教の活
動の中で、いつ
も心強い運動の
友であった「草
の家」。常任理
事の仕事がどこ
までつとまりま
すか不安ですが
頑張ります。



畠中宏一

高校教員をして
います。生徒た
ちと一緒に戦争
遺跡の見学など
しています。戦
争の実相・悲惨
について「草の
家」のみなさん
と学んでいき
たいと思います。



岡村和彦

高知医療生活協
同組合で40年勤
めてきましたが、平和運動に
と平和資料館・
草の家で活動す
るみなさんとい
っしょに組み
んでいきたいと
思います。

2024 年 4 月以降の動き

- 04/01(月) 生活と平和を守る高知市民の会・定例会（担当：出原）
- 04/04(木) 「第46回戦争と平和を考える資料展」第3回実行委員会（15:30～ 草の家）
- 04/08(月) 「金丸英を迎え講演と交流」講演（15:00～）
演題：「強制動員被害者の『人権』と『尊厳』、そして東アジアの平和」
交流：17:00～（20名参加）
- 04/12(金) 第5回「忠霊塔納骨堂」調査（10:00～大原・出原・松村・西村・吉成・横山 他）
- 04/15(月) 大豊町西峰の桑原栄さん宅にて祖父（桑原一誠）のシベリア出兵関連資料受領（出原）
- 04/15(月) 橋本瑠子（高知市内在住）さん、シベリヤ抑留関係の資料等を持って来館。一応預かる。
- 04/18(木) 「憲法アクション呼びかけ人会議」自治労会館（担当：岡村和）
- 04/19(金) 憲法アクション・19行動（中央公園北口 西森含む 35人）
- 04/29(月) 第6回「朝倉忠霊塔納骨堂」調査 10:00～16:00
- 04/29(月) 自由民権友の会「2024年度総会・記念講演会」13:30～
- 04/30(火) 「戦雲」高知市上映実行委員会 18:30～
- 05/01(水) メーデー
- 05/01(水) 平和七夕・江ノ口小学校訪問
- 05/03(金) ビキニの海のねがい原画展・ビニキ被曝者写真展（～11迄）
自由民権記念館、参加者述べ200名
- 05/09(木) 事務局会議
- 05/11(土) ビキニデーin高知2024（～12迄）
こうち男女共同参画センター「ソーレ」、参加者のべ200名
- 05/13(月) 生活と平和を守る高知市民の会・定例会（担当：出原）
- 05/14(火) 平和資料館・草の家会計監査（担当：西森）
- 05/15(水) 原発なくす会・総会
- 05/17(金) 憲法アクション・19行動



05/18(土) 平和資料館・草の家 2023 年度第 2 回理事会 (参加理事 13 名)
 05/20(月) 江ノ口小に折り鶴の「吊るし輪っか」を届ける
 05/21(火) 憲法アクション呼びかけ人会議 (担当：岡村和)
 05/25(土) ソーレネットワーク会議
 05/25(土) パレスチナと沖縄連帯集会 (～26 迄)
 05/26(日) 第 17 回鶴来島調査
 05/29(水) 「戦雲」高知市上映実行委員会 (参加者 10 名)
 06/01(土) 第 4 回榎村浩碑前祭 (参加者 21 名)
 06/01(土) 平和資料館・草の家 2024 年度総会 (参加者 26 名)
 06/01(土) 平和資料館・草の家懇親会 (参加者 17 名)
 06/03(月) 生活と平和を守る高知市民の会・定例会 (担当：出原)
 06/07(金) 高知市・朝倉小学校 (1～6 年生)・語り部 (全校生徒約 650 名)
 06/08(土) 第 11 回戦争遺跡保存四国シンポジウム愛媛・西条大会 (～9 日迄)
 06/08(土) 「原発をなくす会」 2024 年度総会 (14:00～ 高知県人権啓発センター)
 06/13(木) 「戦雲」試写会 (18:00～ メフィストフェレス)
 06/15(土) 東洋町・甲浦小学校 (1～6 年生)・語り部 (13:55～)



「民権 150 年」高知県実行委員会企画第 3 弾— 歴史散歩「自由民権と丸山台」を開催

参加者の大半が「初めて上陸しました」—鏡川下流、浦戸湾と合流するところにある現在は県立公園になっている「丸山台」(写真右・料亭濱長の HP より)に上陸し、「民権 150 年」高知県実行委員会企画第 3 弾として「歴史散歩『自由民権と丸山台』」を 5 月 26 日に開催しました。草の家も実行委員会に加盟しています。

参加者は、当初定員 20 名を超え 23 名が参加。案内人の公文豪氏(自由民権研究家、高知市立自由民権記念館友の会会員)の丸山台でのミニ講演と民権期の若松町の歴史散歩に「そんな歴史があったのか」と、驚いたり、感心したり、参加者一同、興味を駆り立てながら聞き入っていました。



丸山台での公文氏ミニ講演では、藩政時代や戦前の丸山台の写真や説明資料、明治時代・民権期の新聞に掲載された挿絵、また、当時、丸山台で温泉場等の営業していたという此君亭の記事などの紹介や、丸山台での民権派、反民権派の懇親会や演説会などが開催されたことや、板垣退助が明治 16 年 8 月、洋行から帰高した際の歓迎図(明治 16 年 8 月 31 日付『土陽新聞』挿絵)に、沢山の小舟が出て板垣を迎えたことが紹介される中で、公文氏が「民権の聖地」と名付ける丸山台に納得していました。

また、丸山台の北の岸側・若松町界隈(稲荷新地)の歴史散歩では、此君亭、松鶴楼の変遷、松鶴楼の芸妓愛吉が演説した内容などの紹介、また、民権家坂本南海男等が演説した玉江座と得月楼本店の変遷など、興味を倍増する説明がありました。